

## クラウドクレジット株式会社

2023年2月14日

欧州3か国消費者ローン・ファンド1号（リターン追求型）
2023年1月期（2023年1月1日～1月31日）分配停止に関するお知らせ

平素よりお世話になっております。欧州3か国消費者ローン・ファンド1号（リターン追求型）にご投資いただき、ありがとうございます。欧州3か国消費者ローン・ファンド（リターン追求型）シリーズ（以下「本ファンドシリーズ」といいます。）では2016年12月期にご報告申し上げた運用環境が2022年12月期においても継続しておりますので、ご案内申し上げます。当期分配金の按分計算についても併せてご連絡させていただきます。投資家様の公平性を保つために2016年12月期に導入した号ごとの分配額の決定方法を、当月期においても継続させていただいております。

**【2023年1月期（当月期）の分配】**

当月期のファンドシリーズ全体の按分額の決定に関しましては以下の表<sup>1</sup>をご参照ください。

2023年1月期分配時点(ファンド全体)

現金	€ 912.62	・・・当月期分配時の現金残高
-) 当月期分配額	€ 897.48	・・・当月期の分配可能原資総額 ※
差額	€ 15.14	・・・翌月期以降の分配に持越す額
前月期分配後のローン残高	€ 673,356.28	
-) 当月期分配後のローン残高	€ 671,189.73	
差額	€ 2,166.55	・・・当月期のローン残高減少額

※将来のキャッシュフローを想定し当社が計算した分配可能原資額

**【一時分配停止のお知らせ】**

本ファンドは、本ファンドシリーズの資金を原資として投資しているエストニアグループ会社がP2P レンディングマーケットプレイスを通じて購入し保有している債権の回収率の低下に伴い、将来キャッシュフロー（契約上の金額ではなく、遅延、延滞等の影響を考慮した当社の推算値）の見通しを引き下げざるを得ない状況となりました。その結果、本ファンドに関しては2022年11月期までにすで

<sup>1</sup>小数点以下第2位を四捨五入して記載したため、合計しても合計値と一致しない場合があります。

に分配済みのユーロ貨をもとに求めた投資倍率が、2022年12月期分配決定時点で予想される他の各号の最終的な投資倍率を上回ることとなったため、一時的に本ファンドにおける分配を停止しております。来月期におきましても同様の状況が続く場合、分配はございません。分配再開の見通しは現時点では立たないものの、前述の通り、現地パートナーである Bondora AS と共に債権回収における必要な手段を講じていく所存です。

#### 【当月期の新しいトピック】

特にございません。

#### 【運用環境について】

本ファンドシリーズは、Bondora AS が運営する P2P レンディングマーケットプレイスを通じて、スペイン、フィンランド共和国及びエストニア共和国の個人向けローンを8つのリスクグレードに分類し、その中から最もリスクの高いグレードのローンに投資するファンドです。現状、本ファンドシリーズではスペインに 87.5%、フィンランドに 11.5%、エストニアに 0.9%の割合で貸付債権を有しております<sup>2</sup>。本ファンドシリーズは 2015 年 5 月から運用を行ってまいりましたが、2016 年 12 月期にご報告申し上げた延滞期間の長期化が当月期においても継続しており、回収状況が低迷しています。クラウドクレジット株式会社（以下「本営業者」といいます。）のエストニアグループ会社 Crowdcredit Estonia OÜ（以下「エストニアグループ会社」といいます。）は、現地パートナーである Bondora AS を通して、延滞している債権回収額の最大化を図るとともに、長期間の延滞を継続する債務者に対して法的措置を含めた対応をとっております。このような状況下においては債権の回収に相応の時間を要することや、エストニアグループ会社が保有する債権に貸倒れの可能性が上昇していることから、保有する債権が将来生み出すキャッシュフローに対する不確定要素が多くなっております。

#### 【当社の対応】

本営業者は、2016 年 12 月期において、本ファンドシリーズについて「延滞債権発生率の上昇」と「延滞期間の長期化」が急速に進行したことで、将来にわたって受け取る元利返済金の減少と回収期間の長期化は避けられないものと判断いたしました。そのため、2016 年 12 月期以降、毎月配当可能な現金財産を各号に按分したうえで、各号のエストニアグループ会社からの返済額をすべて元本返済に充当し、投資家様に分配することといたしました。具体的な分配方法としましては、まず 2016 年 12 月期の分配時点において本ファンドシリーズ全体が保有する現金財産を各号の出資金残高で按分しエストニアグループ会社内に各号分として留保しました。

その後、貸付債権から回収が見込まれる将来キャッシュフロー(契約上の金額ではなく、遅延、延滞等の影響を考慮した当社の推算値)から得られる収入をもとに、各号のユーロ貨による最終的な投資倍率

---

<sup>2</sup>小数点以下第 2 位を四捨五入して記載したため、合計しても 100.0%にならない場合があります。

が可能な限り等しくなるように按分比率を決めさせていただいております。その按分比率に応じて、毎月分配可能な現金を各号に按分し分配しております。将来キャッシュフローに関しては毎月の分配時に精査し按分比率もその都度調整いたします。

なお、号ごとに分配を行った後で、エストニアグループ会社の預金口座に現金財産が残る場合には、翌月期以降の分配に備えて一旦留保し、漸次、分配原資へ振り分けております<sup>3</sup>。

また、投資家様への分配の内訳として、出資金の返還を優先しています。当該号の出資金をすべて返還したうえで財産が残ることが見込める場合にのみ、運用益の分配を行います。その理由は、ファンド全体の返済原資が限定されている中で、エストニアグループ会社からの利息に対応する利益を分配した場合、投資家様において源泉徴収税の負担が生じ、その分トータルでのネット（手取り）の受取り額が減少してしまうので、それを避けるためです。

#### 【今後の見通し】

本ファンドシリーズにおいて、延滞債権の増加により当初予定していた利息収入を満額獲得することが困難になったため、運用利回りが当初の期待利回りに対して低下することは避けられません。今後、Bondora AS による回収事業の進み具合によって実現利回りは大きく上下することが予測されますが、現状の回収状況におきましては、引き続き、返済総額が当初出資金を下回る可能性が非常に高いと予想しております。

#### 【2022年7月期のご報告事項：ファンド監査方法の変更】

本ファンドにご出資いただいた金銭につきましては、ファンド残高の減少やこれまで特段の指摘事項がない結果を考慮して、それまでの外部監査（合意された手続き）に替えて2022年7月期以降は内部監査にて従来と同様の手続きを実施しています。

今後とも当社業務に対するご理解・支援を賜りますようお願い申し上げます。

会社概要（クラウドクレジット株式会社）

【代表者】 杉山智行

【設立年月】 2013年1月

【資本金等】 3,148,886千円

【URL】 <https://crowdcredit.jp/>

第二種金融商品取引業

関東財務局長(金商)第2809号

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会 加入

<sup>3</sup> 「2023年1月期分配時点（ファンド全体）」の「翌月期以降の分配に持越す額」が該当します。